

## Foopak ブランドに食品テイクアウト用の生分解性紙容器を新たに導入

【2019年4月10日、インドネシア】——アジア・パルプ・アンド・ペーパー（APP）は製品ラインナップの拡充を続けてきましたが、このたび、環境目標を達成しつつ消費者の需要を満たす新製品「食品テイクアウト用生分解性紙容器」を Foopak ブランドに加えることになりました。折りたたみ式の板紙で作られるこの容器は生分解性で、分解後には堆肥として利用できることから、食品のテイクアウト用容器やトレイなど、食品に直接接触する製品の課題を解決するソリューションとなります。またこの製品は、耐久性に優れている上に 12 週間で自然に分解されるため、従来のプラスチック製容器の理想的な代替品になり得ます。

生分解性紙容器は紙の両面がコーティングされており、外側の面は白色度が高く、多色刷りの平版印刷や凸版印刷、フレキソ印刷に適しているため、広告や宣伝にご利用いただけます。内側の面には高い耐油性があり、紙が水分と油分を吸収するのを防いで漏れを軽減します。また、加工や仕上げ工程で高速ヒートシールバーによる 80℃の熱接着ができるように作られており、電子レンジと冷凍庫の両方で使用できます。

APP の「[2018 年製紙・包装材消費者動向レポート](#)」によると、アメリカ人の 65%が、「5 年前と比較して、食品包装の持続可能性の重要性が増している」と回答しています。APP が提供するこの新製品は、米国食品医薬品局（Food and Drug Administration/FDA）の基準に準拠すると共に、欧州の ISEGA の試験において 12 週間以内に分解されることが確認されています。この製品の坪量は 260～370gsm、厚さは 338～599μm ですが、強度と持続可能性を併せ持つこの製品は、使い捨てプラスチック容器の課題を解決すると共に、品質と環境への配慮という消費者の要求を満たすものです。APP の上席副社長であり、グローバルビジネスユニットを統括するフェリックス・コーは次のように述べています。「今回、Foopak の製品ラインナップに食品テイクアウト用の紙容器が加わりましたが、これによって、世界各地の持続可能性目標を実現するお手伝いができれば幸いです。こうして消費者と企業のニーズを満たす製品を提供できることを、当社は誇りに思っています」。

## <APP について>

アジア・パルプ・アンド・ペーパー（APP）はインドネシアおよび中国の紙パルプ製造企業グループの総合ブランド名です。ティッシュ、包装製品および紙製品の世界的な需要は増大を続けており、APP にはそうした需要を満たす高品質の製品をお届けする責任があります。APP の紙、パルプ、包装製品、加工製品の生産能力は年間 1,900 万トンを超えており、その製品は毎日さまざまな形で世界中の消費者のお手元に届けられています。

統合化されたサプライチェーンの維持と持続可能性ロードマップ 2020 の誓約は APP の事業活動にとって極めて重要です。詳しくは、当社の持続可能性報告書や森林保護方針をお読みください：

<https://www.asiapulppaper.com/>

## <APP ジャパンについて>

エイピーピー・ジャパン株式会社（APPJ）は、インドネシアと中国を本拠とする総合製紙企業 APP グループの日本における販売会社です。1997 年の設立以来、20 年以上にわたり日本市場のお客様のニーズにお応えするため、印刷用紙、情報用紙、板紙、コピー用紙、文房具などの分野で、多様な紙及び板紙製品を提供しております。2016 年 4 月にインドネシア企業としては初めて日本経済団体連合会（経団連）に入会しました。

[www.app-j.com/](http://www.app-j.com/)

詳細な情報をご入り用の方、また、ご意見をお寄せいただける方は、下記までご連絡ください：

エイピーピー・ジャパン株式会社

サステナビリティ・コーポレートコミュニケーション本部 山崎・加藤

Tel: 03-5795-0023 Fax: 03-5795-0065

E-mail: [sustainability@appj.co.jp](mailto:sustainability@appj.co.jp)